

地域スーパーを核とした地域包括ケアシステムの構築を促進する健康ステーションサービス

(札幌市厚別区もみじ台エリア)

北海道ヘルスケア産業振興協議会 地域モデルコンソーシアム (株式会社ホクノ)

- ✓ 人口減少・高齢化が進行している札幌市厚別区のもみじ台地区で、日常生活圏域にある地域の中核的なスーパーが、店舗内に健康ステーションを設置し、健康に繋がるワンストップサービスを当該地区の住民に提供し、「健康づくり」「居場所づくり」「役割づくり」を支援する新たな互助の仕組み（アクティブシニアによる生活支援サービス）を構築。
- ✓ 事業の成果としては、①健康ステーション設置に伴うスーパーや食堂の売上効果、②有料化によるステーション運営可能性の確認、③住民の健康改善・健康行動変容効果の確認、④地域の多様な機関との連携体制の構築などがあげられる。

事業の全体概要図



事業実施の成果

①健康ステーション設置に伴うスーパーや食堂の売上効果

モニターのうち新規顧客が18.6%、買い物頻度の増加、買い物の種類・量の増加など、以前よりも買い物が増えたモニターは60.0%であり、売上増に寄与。健やか食堂は、実証期間の4か月間、来店数・売上高ともに前年同期比がプラスに。

②有料化によるステーション運営可能性の確認

モニターの71.4%がステーションの継続利用意向を示し、60.0%が有料(月会費制)でも利用意向を示した。

③住民の健康改善・健康行動変容効果

モニターは、以前より歩くようになった、体調がよくなった・ダイエットにつながった、自宅で健康づくりを行うようになった等、ステーションを利用することによる健康改善・健康行動変容効果が見られた。

④地域の多様な機関との連携体制の構築

本事業の円滑な運営に向けて、医療機関、地域包括支援センター、介護予防センター、自治会、ヘルスケア関連事業者など、地域包括ケアを推進する多様な機関から協力を得ることができた。

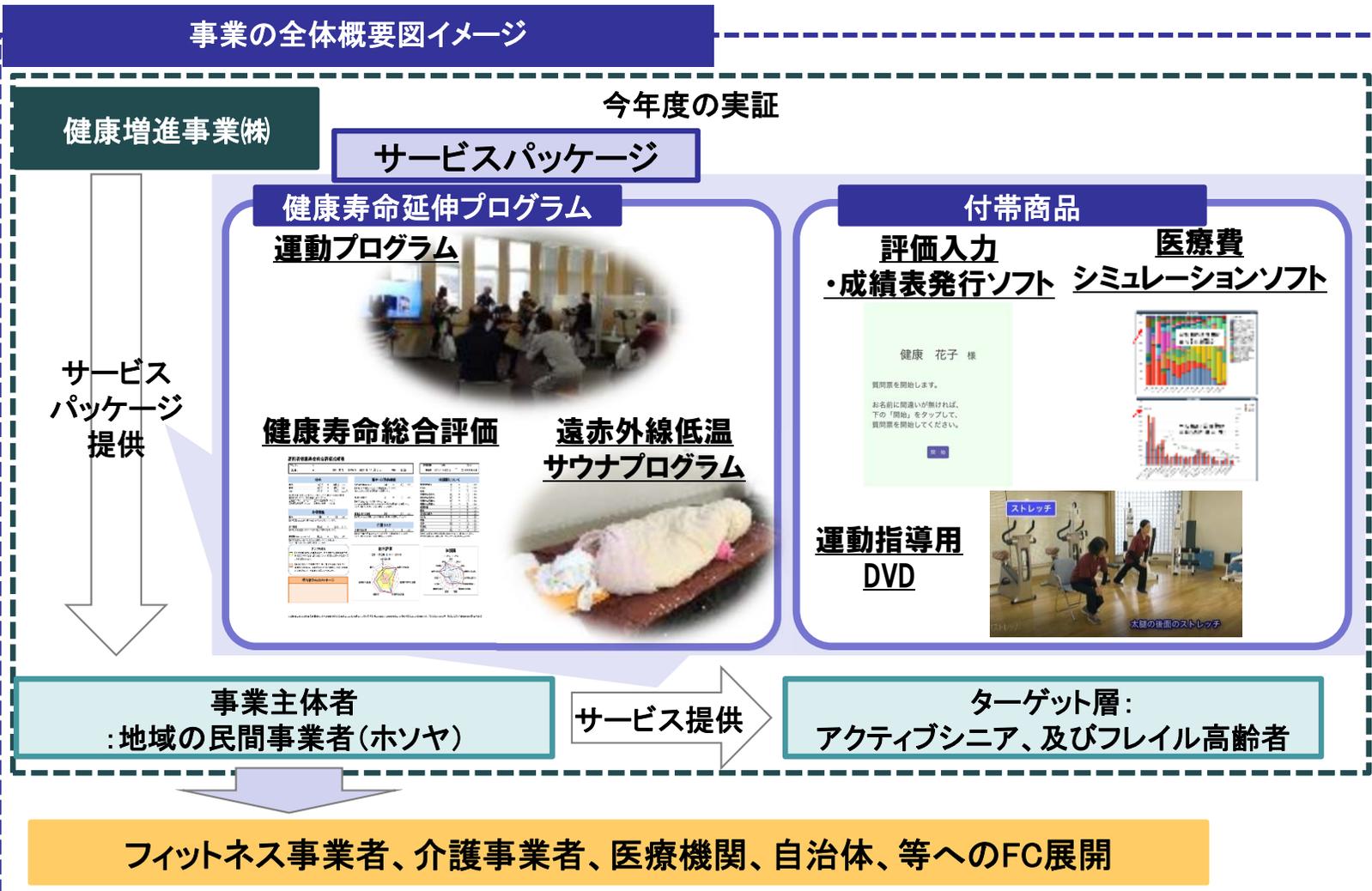
公的保険外サービスとしての「健康寿命延伸プログラム」事業 FC展開に向けて

(群馬県富岡市)

「健康寿命延伸プログラム」推進コンソーシアム (健康増進事業株式会社)

- ✓ 現在、我が国においては高齢者人口が増加し、また後期高齢者における要介護の原因の1位は虚弱（フレイル）にあるとされている。今後の社会保障費の適正化に向けて、フレイル対策を実施する健康寿命延伸サービスが必要である。
- ✓ 東京都健康長寿医療センターが開発し、医学的に健康寿命延伸効果が確立された『健康寿命延伸プログラム』を公的保険外サービスとして、地域に根差した全国の民間事業者が、当該地域の高齢者を対象にサービス提供できる環境構築として、FC展開の実現に向けた検討・整備を行った。
- ✓ 本実証では、一般的に高齢化率が高い中山間地域の一つである群馬県富岡市において、当該地域で事業化が可能なモデル構築に向けた検証を行い、更に、FC展開を見据えたサービスパッケージの開発を実施した。

事業の全体概要図イメージ



事業実施の成果

事業化可能性

- アクティブシニア層の病院外/保険外サービスに対するニーズが認められた
- 移動手段の整備によって、都市部以外の中山間地域でのフレイル高齢者でも集客を期待
- プログラム利用者の本プログラムに対する高い支払意思額(5,000円)を明確化

健康寿命延伸効果

- 病院外の事業主体者(ホソヤ)が実施し、3カ月間で12名(66.7±5.9歳)のフォローアップ、認知機能や身体的QOLの有意な改善が得られた。

ビジネスモデルの構築

- 様々な事業者、自治体へのFC展開可能なパッケージ(実証を通じて得た人材育成ノウハウを反映したマニュアル等)の構築

大森医師会との協業による「エビデンスに基づく」早期の認知症対策事業

(東京都大田区大森地域)

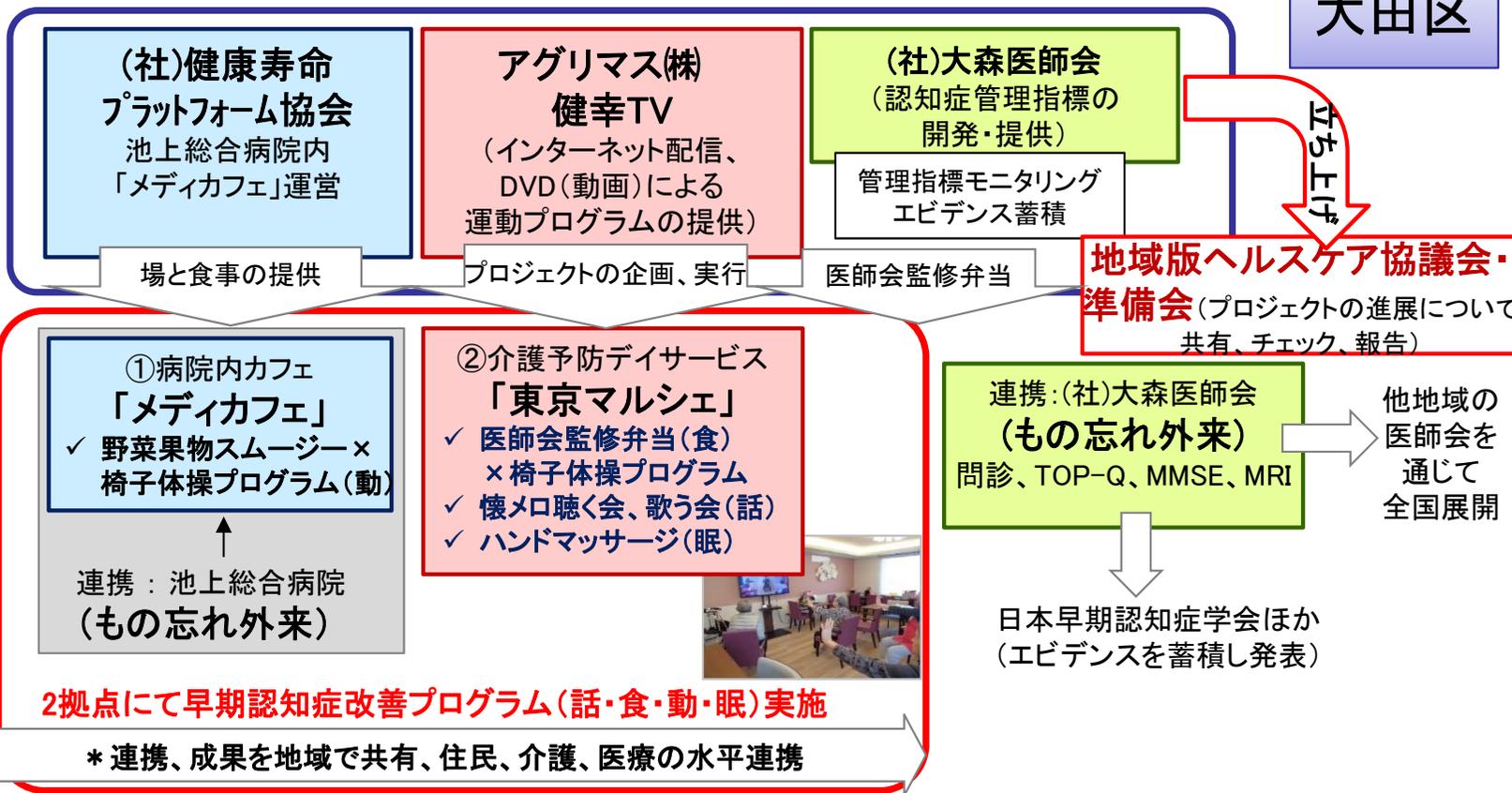
「認知症の重症化予防～早期認知症対策とモニタリング」コンソーシアム (アグリマス株式会社)

- ✓ 医師会と連携した学術的アプローチによる認知症予防、発症後の重症化予防など、患者（予備群）が日常生活レベルで重症化予防できる仕組み、エビデンスや、数値に基づいた経過管理により症状を改善させるサイクルが確立されていない。
- ✓ 大森医師会との連携による、提供プログラムメニュー（運動+a）及び認知症経過管理指標（アンケート、問診、栄養指導、脳活バランサー、TOP-Q、MRI）を確立し、管理指標に基づき患者の利用継続とモニタリング、エビデンス蓄積の「基盤」を構築する。
- ✓ 当「大森メソッド」について、日本全国で同様のノウハウ、サービスモデルを広く展開し、認知症の早期発見、重症化予防が行なえるようなプラットフォームの構築を目指していく。

事業の全体概要図イメージ

* 対象者: 60～80代くらいの方で、元気な高齢者

事業コンソーシアム



事業実施による成果

成果①: 事業者・医師会連携

- 地域、介護事業者と医師会連携による認知症早期発見モデルを構築。プログラム67名参加、モニター36名、MRI受診14名実施。

成果②: 認知症管理指標開発

- オペレーション効率を鑑みた測定方法など、エビデンス獲得のための現実的管理指標を構築。

成果③: 連携パッケージ

- 連携成果をパッケージ化して全国展開。『健幸TV』の活用により、動画コンテンツとして提供。全国で5件の有償ライセンス契約成立、さらに4件が検討中。

本事業において実施する部分

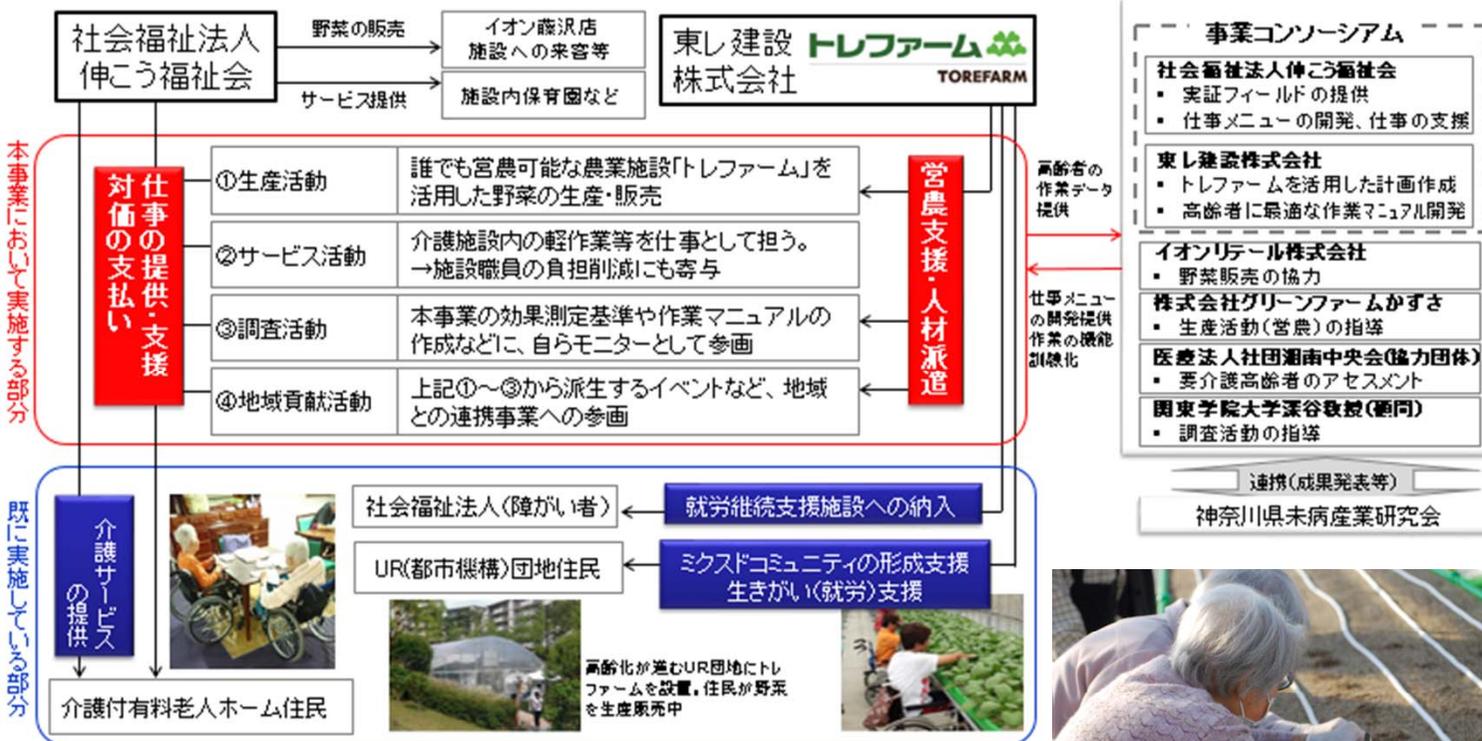
仕事でイキイキ高齢者健康寿命延伸事業

(神奈川県藤沢市)

伸こう福祉会×東レ建設コンソーシアム (社会福祉法人 伸こう福祉会)

- ✓ 課題 : 入居高齢者・入居検討高齢者の中には、要支援・要介護状態であっても「働きたい」「社会の役に立ちたい・立てる」という思いがあるが、活かせる環境が少ない。
- ✓ 解決策 : 施設入居高齢者が、初心者でも営農可能なトレファム®での野菜生産・販売活動および施設内の業務切出しによるサービス活動の2点を、「仕事」として取組むことで、健康寿命の延伸（QOLの向上）と経済的な安定の両面を目指す。
- ✓ 実施内容 : 今年度は生産活動をメインに据え、実施体制作り・環境整備・入居高齢者のマインドアップに注力した。
仕事の説明→参加応募→活動→販売→対価支払いまでを1クールと定め実施した。

事業の全体概要図



事業実施の成果

①「仕事」参加者13名

定員80名の有料老人ホームに入居している高齢者が自らの意思で「仕事」に応募する事が本事業の第1歩であり、参加程度の差はあるが13名が参加をした。体制作りに注力した事で、事故・苦情等0件であった。

②仕事継続参加者の状態改善

- A 生活満足度…約20%の参加者が向上
- B 活動量 …約20%の参加者が向上
- C インタビュー…約50%の参加者にコミュニケーションの質の向上、継続参加希望、消費意欲の向上が確認できた。

③砂栽培野菜の完売→対価の支払い

「仕事」として施設入居高齢者が生産した野菜を一般市場にて販売し190個販売に成功。「高齢者が生産販売しているから」、だけでなく試食を通して「美味しいから買う」という商品力の確認ができた。売上げを原資として参加者に対価を支払った。



野菜栽培に取り組む様子

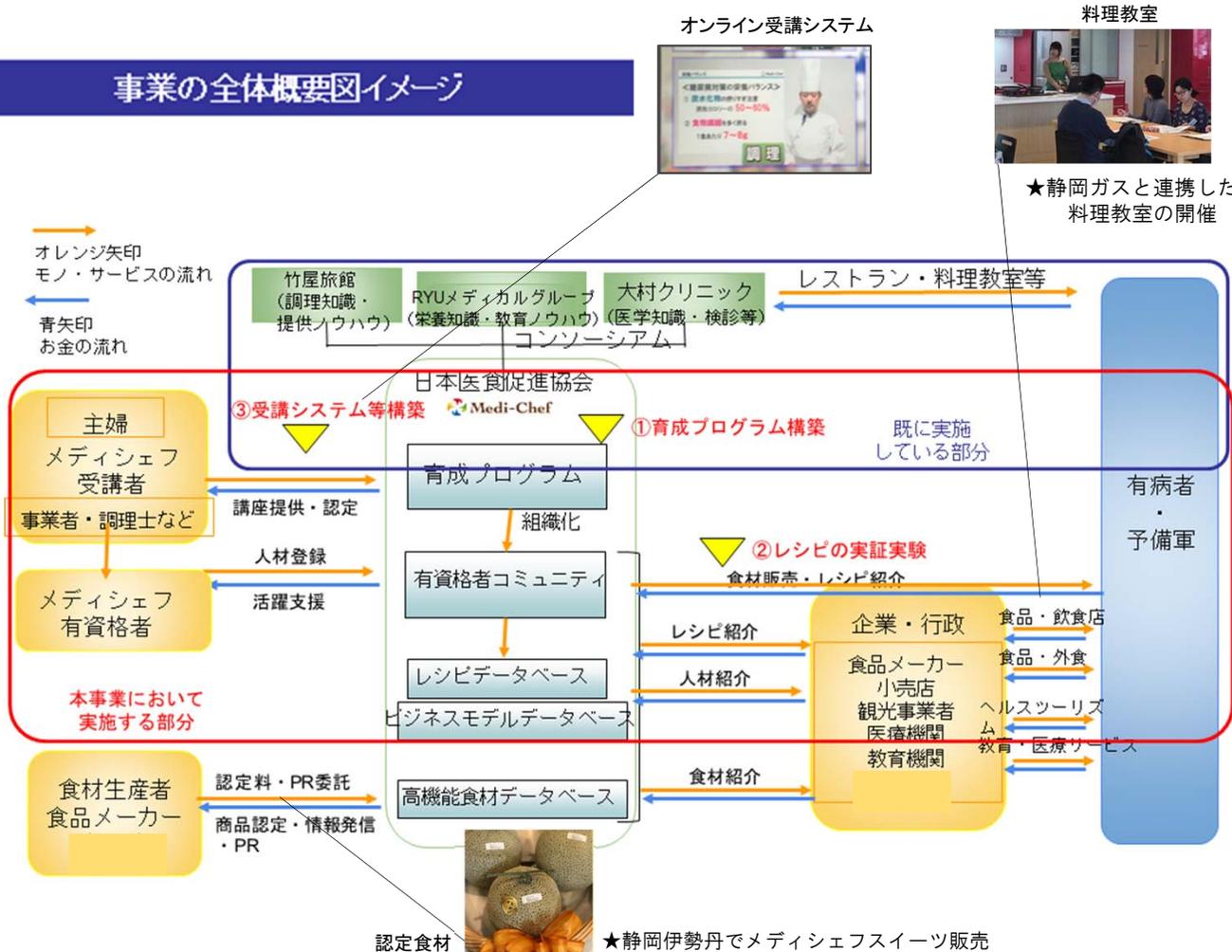
医療の知識を持つ調理人「メディシェフ」の育成で健康づくり推進

(静岡県)

メディシェフ推進コンソーシアム (一般社団法人日本医食促進協会)

- ✓ 生活習慣病患者の増加を背景に、食に制限を抱える人が増加していることや医療費拡大が国や企業の課題である。従来の健康食や健康情報は「美味しくない」「根拠に乏しい」との課題があり、医療・栄養・調理の専門知識に基づく根拠のある「美味しい健康食」を提供できる人材が求められている。
- ✓ 美味しい健康食の提供者「メディシェフ」を、食の提供に関わる主婦や事業者を対象に育成し認定（資格付与）する民間資格事業を行う。資格の受講料に加え、育成したメディシェフ人材を組織化することで、研修などへの派遣や商品開発に関わるマッチングやコンサルティング料を収益源とする。
- ✓ 本年度事業では、①メディシェフを育成する教育プログラムの構築、②メディシェフのレシピによる健康改善や食の満足度の実証、③どこでもいつでも受講できるオンラインシステムの構築 を実施する。

事業の全体概要イメージ



事業実施の成果

①メディシェフ2級育成プログラムの有用性検証
 従業員や主婦など25人を対象に育成プログラムの受講モニタリングを行い、受講者の知識習得や継続の状況を検証。合格率や項目別の正答率をもとにプログラム内容や評価基準を改善し、専門家委員会にて承認を受けた。

②メディシェフ監修レシピの健康改善効果や満足度検証
 糖尿病予備軍を家族に持つ主婦など21名を対象にメディシェフ監修レシピを提供し、1か月間の調理・摂食による継続性や満足度、健康数値の改善を検証。9割以上の受講生が1ヶ月間継続し、平均体重▲3.2kgや空腹時血糖値▲8.3mg/dLなどの改善が認められた他、継続した被験者（調理者・喫食者）の100%がその後も継続できると回答し、レシピ提供後1か月後調査でも引き続き継続していることを確認した。

③メディシェフ育成カリキュラム・受講システム策定
 入門編・2級の受講システム、2級有資格者向けサイトを構築し、受講者が申込・受験・認定・合格後の活躍支援までオンラインで受けられる仕組みを提供した。2018年3月現在、既に100名超の受講者が活用している。

コミュニティナースの育成・支援を通じた健康的なまちづくり推進事業

(島根県雲南市)

コミュニティナース育成コンソーシアム (Community Nurse Company株式会社)

- ✓ 予防的看護の担い手の数が限られているわが国では、とりわけ高齢化・人口減少の進む地域の高齢者や現役世代が、医療機関にかかる前の日常の段階で健康の専門家に出会えず、自身の健康に気づき、予防をするためのきっかけを得られていない
- ✓ コミュニティナースは、地域に出向いて住民の日常生活の中に入り込み、医療機関や行政などとも連携しつつ、住民の健康と幸福に寄与するさまざまな活動を、制度に縛られることなく住民と共に実践する
- ✓ 本事業が目指すのは、これからの時代に必要とされる新しい社会的役割としてのコミュニティナースが育つしくみと、その活動が持続可能な形で成り立つしくみが、日本のあらゆる地域で当たり前になっている世界である

事業の全体概要図

- ・事業1年目は、まず「人材」と「地域」のロールモデルをつくる
- ・地域での多様な実践を通して得た知見とノウハウをもとに「人材」と「地域」の双方にはたらきかけ、成果へと導くことが、事業者としての特徴であり強みでもある



事業実施の成果

①育成モデルの確立

集合型研修と地域での実践を柱とする育成講座のモデルを確立し、44名(累計86名)のコミュニティナースを輩出した

②地域による導入のモデルづくり

地域(自治体)がコミュニティナースを導入するモデル事業として、雲南市が新たに2地区を選定し、次年度より2名の講座修了生が入ることが決定した。

③育成と活動の効果測定

コミュニティナースの活動が地域に生み出した効果を検証し、現時点で最適と思われる効果測定モデルを構築した。今後の測定・モデル改善を経て、自治体での導入促進や、予防医療・地域づくりの新たな制度化に繋がる可能性が見込まれる

※雲南市では、市役所・住民組織・医師会・病院・社協など関係者を交えたコンソーシアムを形成

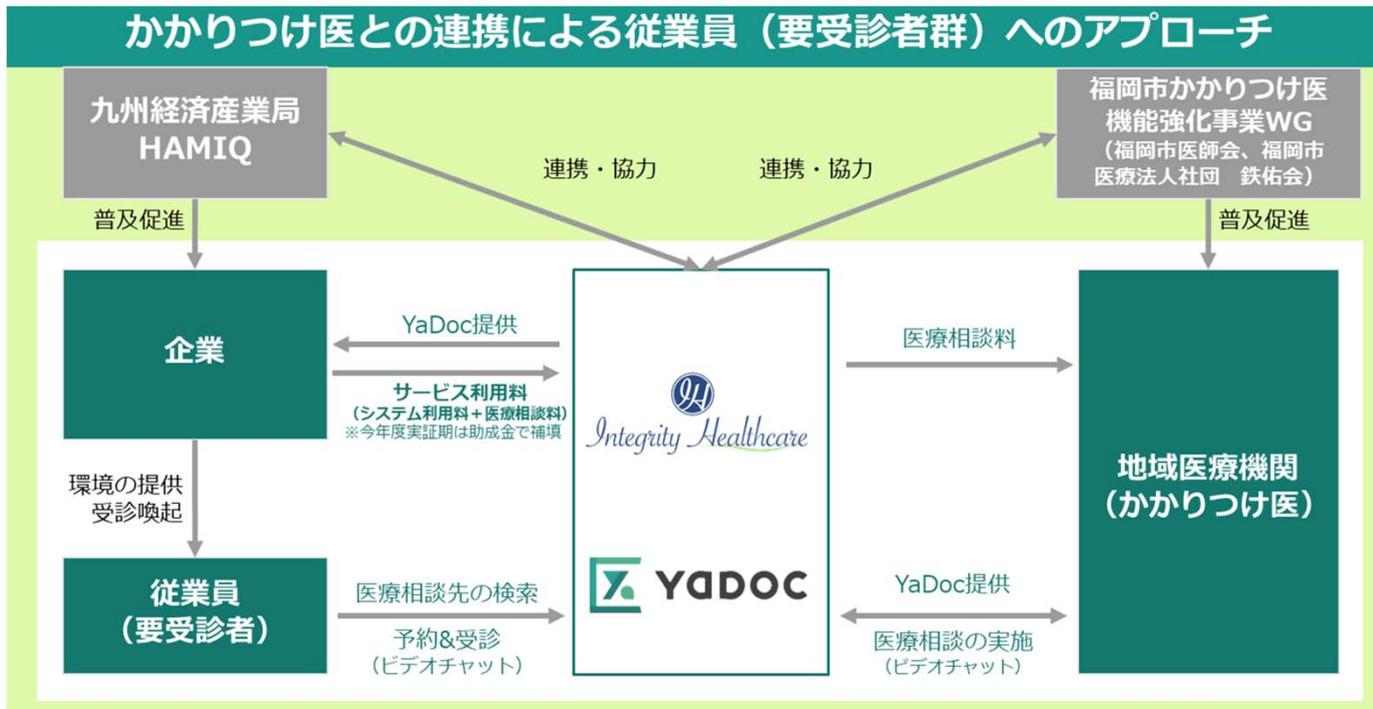
地域医療機関と連携した、勤労世代への医療アクセシビリティ向上事業

(福岡県福岡市)

福岡市医療アクセシビリティ向上事業コンソーシアム (株式会社インテグリティ・ヘルスケア)

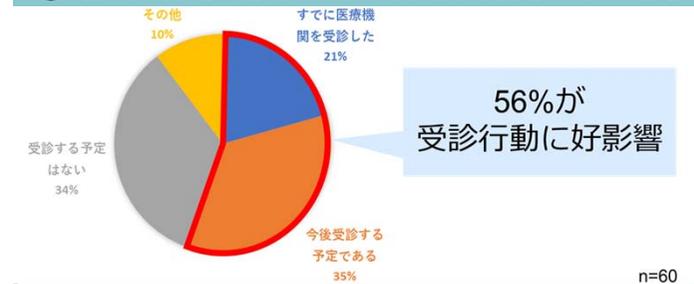
- ✓ 【背景・解決すべき課題】従業員の健康診断後の受診行動については、実効性のある施策が講じられておらず、受診に至っていない。健康不安のある従業員に対し、受診の阻害要因を解消することで継続的な受診行動を促し、重症化を予防する。
- ✓ 【サービスモデル概要】企業の要受診者および要医療相談対象者の従業員へオンライン医療相談サービスを提供。医療機関の予約、医療相談、結果記録まで一連の流れをオンラインで行うプラットフォームサービスを提供する
- ✓ 【本年度事業の実施目的・内容】福岡市にてトライアルの実施と有用性の検証、サービスモデルの検証を実施

事業の全体概要図

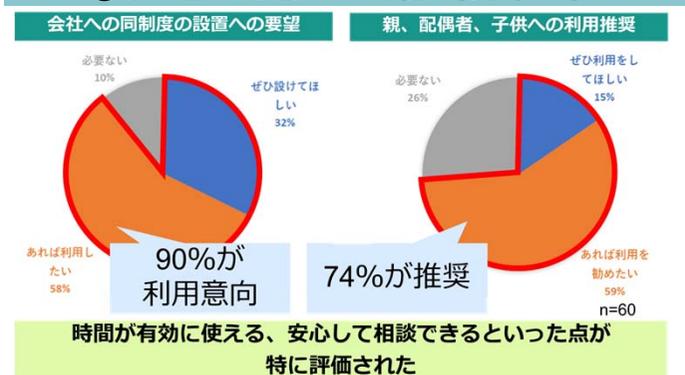


事業実施の成果

① オンライン医療相談後の受診行動への評価



② サービス内容への評価（従業員）



③ サービス内容への評価（企業、医療機関）

企業:「社員の健康意識の向上につながる」、「健康経営の一助となる」と評価
 医療機関:「生活習慣病の重症化予防につながる」と評価

職と学びのフレイル対策による新たな産業創出事業

(福岡県北九州市)

北九州 フレイル対策コンソーシアム (株式会社サンキュードラッグ)

- ✓ 北九州市エリアにおいては要介護認定者(現在6.2万人)が年々増加中である。その前段階とも言えるフレイル状態にある高齢者に対し、身近なドラッグストアにて受講できる予防・改善プログラムを実施する。プログラム内容は「運動・食・社会参加」をテーマとし、それぞれに実績のあるコンテンツを用意し、ドラッグストアに勤務する管理栄養士・登録販売者などがその実施を担当することで高いフレイル予防・改善効果を実現する。また、参加者が新たな友人獲得し、新たなコミュニティ形成が促進されることも目的とする。
- ✓ 効果検証はPHR測定・フレイルチェック・脳認知機能テストなどによりあらゆる角度から行い、今後の事業化へむけてマーケティングデータとして活用する。

事業の全体概要図

地域の高齢者へのフレイル対策プログラム提供

生涯学習
トライアル講座



筋力づくり
“体操教室”



昼食会栄養士特製
弁当昼食会



個別カウンセリング型
健康指導

PHR測定
食事・運動指導



管理栄養士が担当

東京都健康長寿医療センター
： 学術的効果検証を担当

事業コンソーシアム

(株) サンキュードラッグ
実施場所・人材の提供
地域住民への募集告知

(株) ユーキャン
生涯学習トライアル講座の
コンテンツ・運営マニュアル作成

大日本印刷 (株)
事業設計・データ分析等
を担当

連携

九州ヘルスケア産業推進協議会
(連携団体)

(株) 第一興商
体操教室のコンテンツ提供と
トレーナー派遣

事業実施の成果

①脳認知機能の改善・体力強化

「軽度認知障害の疑いあり」が33.9%→13.9%へと大きく減少。
日常生活に必要な基礎運動能力も向上し、BMIも適正值へと改善。

②社会活動の活発化

参加者のほぼ全員が新しい友人を獲得。75%が講座以外でのランチ会等へ参加している。サンキュードラッグでの健康関連商品、化粧品の購買額が伸びており、「健康意識が向上し、外出のためのみだしなみにも意識が向き始めたこと」も推測される。「気分が明るく前向きになった」との回答が46.5%と、メンタル面の変化も多く見られた

③事業化への期待

有償でもほぼ全員がまた参加したい、と回答(希望価格の平均は月5,001円)。フレイルチェックや脳認知機能検査に対しても約70%が費用を負担する、と回答

本事業において
実施する部分

既に実施して
いる部分

遊休看護師の活躍による、ハッピーエンディングプロジェクト

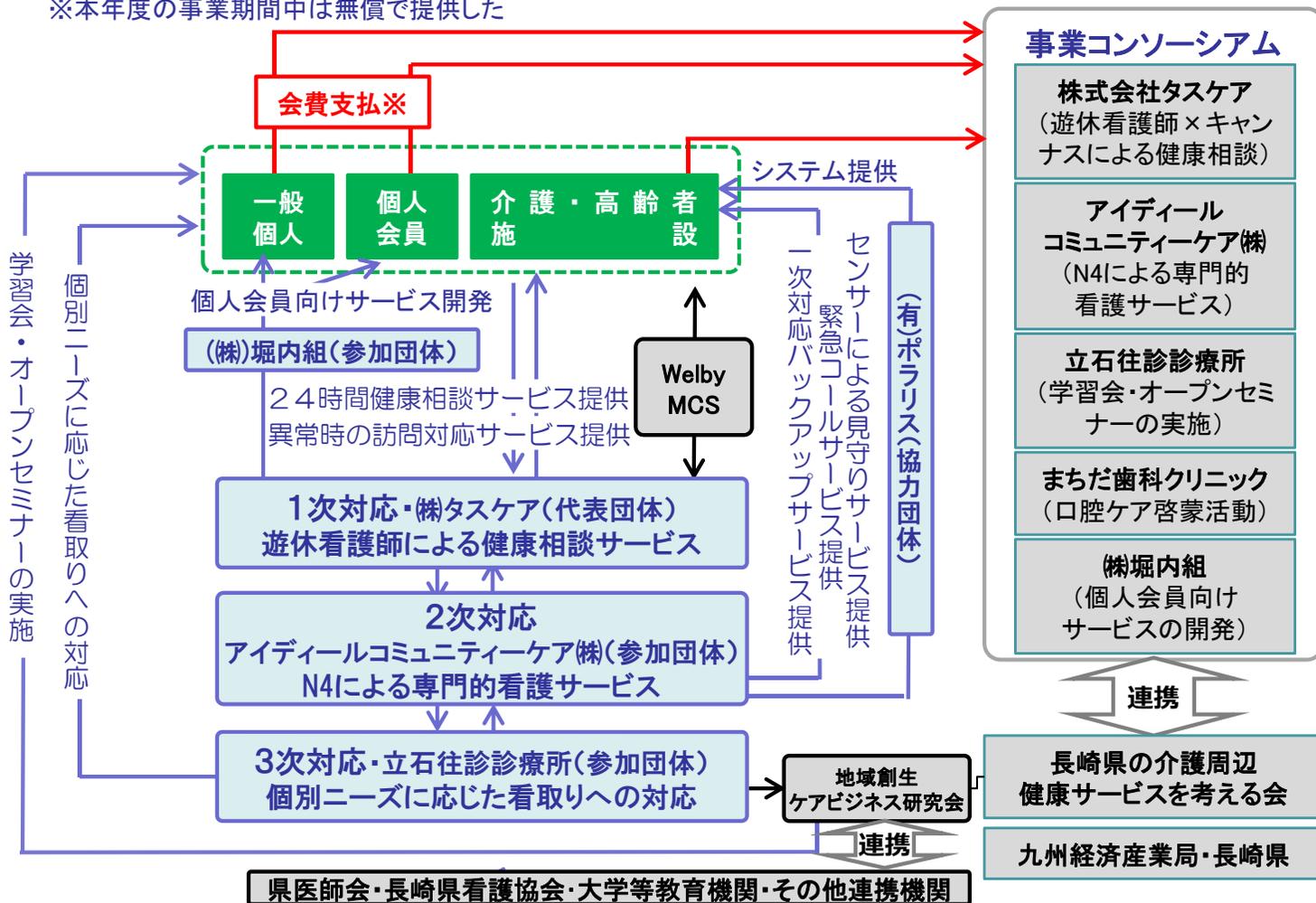
(長崎県長崎市／諫早市／佐世保市／島原市)

平成の出島コンソーシアム (株式会社タスケア)

- ✓ 高齢者が、希望する場所で望む生を全うできる、健康アテンド・コンシェルジュサービスを提供する。
- ✓ 資格を持ちながら職に就いていない看護師を「遊休看護師」と定義して雇用、また救急対応に特化した臨床看護師グループ「N4」を組織し、看護師の新しい働き方を創出する。これらの活躍によって、在宅生活者・医療機関・介護施設を支援する。

事業の全体概要図

※本年度の事業期間中は無償で提供した



事業実施の成果

成果①: 4名の遊休看護師のスポット雇用及びボランティアネットワークとの連携により、9時～21時で365日電話相談サービスを提供。必要に応じ公的保険でまかなえない部分の訪問援助サービスを提供できる環境を構築した。

成果②: 施設職員からの夜間の緊急相談への対応と見守りシステム(Poraネット)を配備を行った。これにより、施設職員がこれまでよりも心理的な負担が軽減され、安心して業務をおこなうことができた。

運転を継続するものに対し、介護予防を取り入れた運転能力トレーニングサービスの提供

(宮崎県宮崎市)

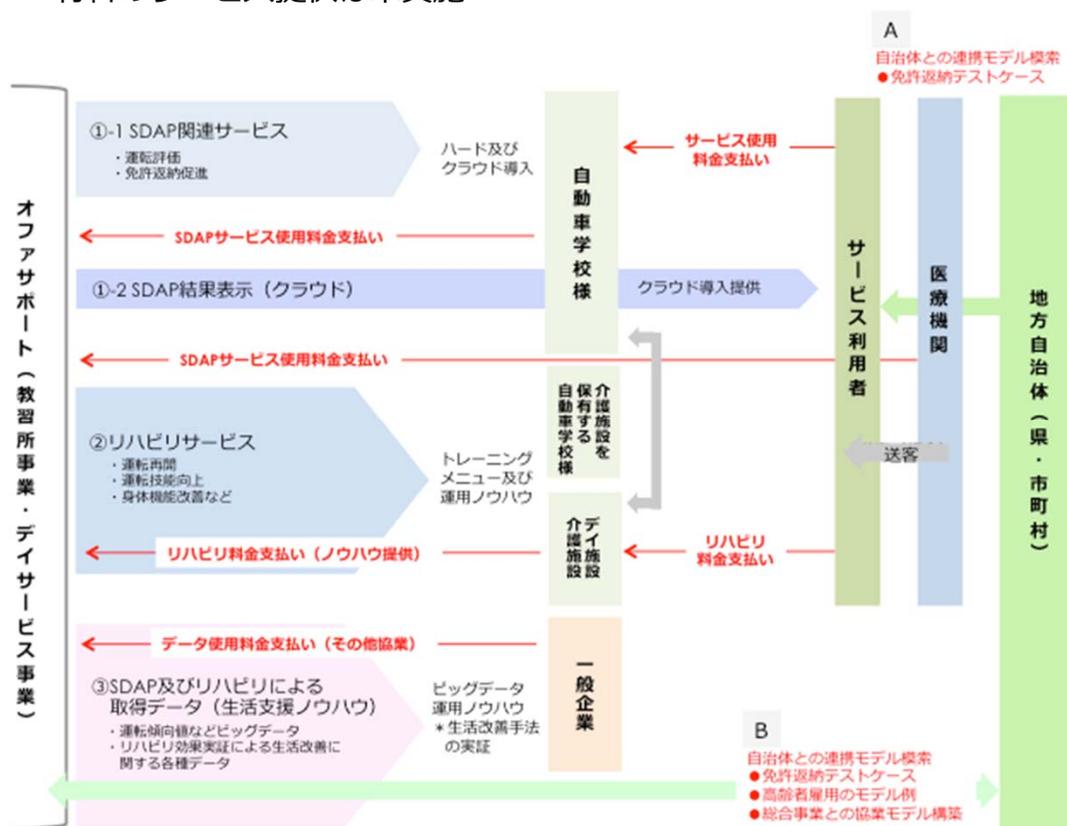
自動車運転評価システムを応用した介護予防提案を考えるコンソーシアム (株式会社オファサポート)

- ✓ **【背景・解決すべき課題】** 高齢者による自動車事故の急増を受けて「適正な自動車運転スキルの延伸」及び「運転を続けられる健康の維持」を包括的に獲得する必要性に迫られている。
- ✓ **【ビジネスモデル概要】** 自動運転評価システム及び付随する安全運転を目指したリハビリメニューを全国の「自動車学校・医療機関・リハビリ施設」などに提供する。
- ✓ **【事業の実施目的】** 自動車運転評価システムの普及拡大と安全運転・生活改善に特化したリハビリメニューの開発とその提供を目指す。

事業の全体概要図

下記ビジネスモデル図のうち、①②の商品開発を進めモニターによるトライアル提供を今年度事業として実施

* 有料のサービス提供は未実施



事業実施の成果

①国内初AI型評価システムによる運転評価を提供

運転機能評価システムS.D.A.P.の製品化を進め、運転能力の可視化に成功。複数の教習所から導入意向を得られた。



②安全運転・生活改善に特化したリハビリメニューの開発・提供

生活改善・安全運転を目指したリハビリメニュー第1弾が完成。参加者の運転スキルの向上や生活改善に効果が見られた。

